

## (36) 雨塚山(あまつかさん)の紫水晶

参考文献(1)(2)を手引きに、探査に出かけた。参考文献(1)では、紫水晶が結構よく拾えると書いている。が、1982年以前の時である。参考文献(2)では、ズリ場は至る所で掘り返されており、紫水晶を拾えるのは至難の業と書いてあった。が、現状も知りたかったので、探査に出かけることにした。

国見インターを降り、4号を少し北上して、家老地区で、石母田峠への林道に入った。現在では、林道は狭いが4輪駆動車ならば、何の苦もない。峠から鉱山跡への道も、現在では通常の車の通行が可能な林道である。林道を下っていったので、ズリ跡は林道の右手となる。地形図中の赤丸の位置である。林道までズリがあるので、直ぐにわかる。が、見上げると、情けなくなる程の狸堀の跡である。倒木もあり、木の根元が至るところで大きく掘られている。(注意事項 いたずらに狸堀などをして、木々を傷めてはダメである。)

帰りは林道を北上し、赤井畑地区に出て、下戸沢から小坂峠を経て、国見インターの経路をとった。距離的には石母田峠経由の方がだいぶ短い、狭い林道を進む。時間的には小坂峠経由とあまり変らなそうである。

台風や大雨で、ズリが洗い流されるので、その時には採集に期待できるかもしれない。



地図 国土地理院地形図2万5千分の1地形図「白石南部」+「桑折」

探査日 2009年6月

参考文献

(1)「鉱物採集フィールド・ガイド」草下英明、草思社、1982年

(2)「フィールド版 鉱物図鑑」松原聡、丸善、1995年。

## 鉋山跡写真



林道からズリ跡を撮影。この辺りでは掘り返しは顕著ではないが、上の方は悲惨である。  
中央の木には町長名での掘り返し等を禁ずる掲示があった。が、この直ぐ下100mも離れていないところでは、山の斜面を掘り崩した大規模な林道の開削の跡が生々しく残っていた。地形図中の波線で引かれている道の拡張のためか？



ズリの最上部にあった坑口跡と思われる箇所。

## 採集鉋物写真

表面採集で、小さく、少し紫がかった水晶片を幾つか採集した。それほどの物ではないので未掲載。